

伊賀市議会だより

No.73
2023.5.1

あたらしい友達と
あたらしい学校へ



特集 令和5年度一般会計予算 厳しくチェック! P4

<主な掲載内容>

市議会の新しい体制	P 2
3月定例会	P 6
4月臨時会	P 8
一般質問 市政を問う	P10
活動報告	P16

上野南小学校開校目の様子

市議会の新しい体制が決まりました。

副議長



かわかみ よしひで
川上 善幸

議長



ちかもり まさとし
近森 正利

監査委員



きたやま たかし
北山 太加視

議長・副議長 あいさつ

このたび、4月の臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。

3年もの間続いたコロナ禍が、ようやく落ち着きをみせてきておりますが、ウクライナ侵攻等により物価が高騰している状況下において、地域経済への支援や家計への支援等に対応した未来に続く対策など、状況の変化をとらえた支援が求められています。

このような中、議会におきましては、アフターコロナへの経済対策の提言のほか、市議会議員選挙と市長選挙の同時実施の検討や子ども・若者議会の検討、若年層によるタウンミーティングの開催など「市民による市民のための開かれた、信頼される議会」を目指し、議会改革に取り組んでまいりますので、市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

◎…委員長 ○…副委員長

予算・決算常任委員会

予 算

予算及びこれに関する事項を所管

◎川上 善幸 ○百上 真奈
委員は議長を除く21議員

決 算

決算及びこれに関する事項を所管

◎川上 善幸 ○百上 真奈
委員は議長と監査委員を除く20議員

議会運営委員会

議会を円滑・能率的に行うため、日程や審議内容を審査

◎中岡 久徳
○山下 典子
西口 和成
宮崎 栄樹
桃井 弘子
赤堀 久実

その他組合等議会

伊賀南部環境衛生組合

青山地域と名張市のごみ処理、し尿処理施設の管理運営に関する事項を審議

川上 善幸 福岡 正康
中谷 一彦 百上 真奈

三重県後期高齢者医療広域連合

三重県内の後期高齢者医療制度の運営に関する事項を審議

近森 正利

常任委員会委員

◎…委員長 ○…副委員長

※議長は、常任委員会には所属しません。

総務常任委員会

総務部、企画振興部、財務部、地域連携部、人権生活環境部、デジタル自治推進局、防災危機対策局、出納室などの事項、その他の委員会に属さない事項を所管



◎ 百上 真奈



○ 森中 秀哲



北森 徹



福岡 正康



市川 岳人



田中 覚



上田 宗久

教育民生常任委員会

健康福祉部、上野総合市民病院、教育委員会の事項を所管



◎ 西口 和成



○ 西條 エリ子



北山 太加視



釜井 敏行



西田 方計



桃井 弘子



中谷 一彦

産業建設常任委員会

産業振興部、建設部、消防本部、上下水道部などの事項を所管



◎ 赤堀 久実



○ 増田 雄



濱瀬 達雄



川上 善幸



宮崎 栄樹



山下 典子



中岡 久徳

令和5年度一般会計予算

「こどもファースト！未来へ“跳”（ジャ

予算議案は、議長を除く全議員で構成する予算常任委員会に付託され、

こども

【主な事業】

学校給食管理経費 1億 6,594万 3千円

給食センター管理運営経費 5億 6,903万 3千円

食育の推進や保護者の子育て支援のより一層の充実を図るため、市立小・中学校の給食費無償化を行う。

医療費助成経費 4億 9,569万 4千円

令和5年9月から、医療費窓口無償化の対象を中学生までに拡充するとともに、受給資格認定にかかる所得制限を撤廃する。

出産・子育て応援給付金事業 5,016万 8千円

妊婦1人あたり5万円、新生児1人あたり5万円を支援する。



くらし

【主な事業】

伊賀鉄道活性化促進事業 1億 4,606万 5千円

伊賀鉄道の運営を支援するための補助や伊賀鉄道の通学定期券の1/2の補助を行う。

窓口業務経費 9,316万円

10月から、郵便局（古山、阿波、矢持）において、戸籍謄本等や住民票の写し、納税証明書などの交付請求の受付及び引き渡し業務を行う。

新斎苑整備運営事業 11億 5,077万 7千円

PFI方式により実施している新斎苑整備運営事業の建設業務等に関する経費。

共同消防指令センター整備事業 7億 95万 6千円

災害対応力の強化や経費の低減化を図ることを目的に、令和6年4月から名張市と共同で運用を開始する共同消防指令センターを整備する。

にぎわい

【主な事業】

忍者市プロジェクト事業 2億 4,278万 5千円

にぎわい忍者回廊PFI事業で建設予定の忍者体験施設の整備業務を行う。また、伊賀上野城周辺の市有観光施設等の官民連携事業の導入可能性調査などを行う。

文化芸術推進費 1,431万 4千円

美術博物館の建設に向けた準備を行う。

芭蕉翁顕彰事業 2,617万 5千円

令和6年の芭蕉翁生誕380年を記念した事業の検討・開催を実行委員会に委託する経費。また、芭蕉翁顕彰会の運営に対し補助を行う。

企業立地促進経費 3,219万 3千円

関西圏を中心としたエリアに立地する企業による投資及び本社機能移転を伊賀市に促すため、企業等の経営者に対し、企業誘致セミナーを開催する。

昨年度より15億6,321万円増

451億290万円を可決

「(仮称) 予算」を議会が厳しくチェック！

3月13日、15日、16日の3日間にわたって審査を行いました。

一般会計予算にかかる質疑(予算常任委員会 3月13日、15日、16日)

歳入 公営住宅使用料

問 公営住宅使用料の収納率向上について、どのように検討されているのか。

答 滞納整理については、収納担当職員2名と、会計年度任用職員の徴収員2名の4名体制となっています。

ミーティングを定例で行い、滞納の初期段階における取組として、入居者及び連帯保証人への早期接触による状況の把握、電話かけ、日中訪問や夜間訪問、呼び出しでの納付指導、督促状、催告書等による納付指導を行い、納付意識の向上、収納率の向上に努めています。

歳出 定住自立圏推進事業 運行業務委託料

問 この事業は小学生を対象にヘリコプターで空から圏域を探訪することで、エリアプライド(圏域の誇り・自尊心)の醸成を図るとのことであるが、対象は。

答 ヘリコプターに乗っていただく子どもたちは、郷土の歴史を勉強している小学4年生を対象と想定しています。

問 この事業は継続していくのか。

答 できれば継続性を持たせたいが、効果検証をしなが

ら定住自立圏全体の取り組みとして何が必要なのか見極めていきたいです。

問 多くの子どもたちに感動を与えていただくような予算にしていきたい。

答 今回は、1回目ということで、少し骨格的なプランになったが、将来的には継続持続をし、圏域の一体感をより高めていき、4年生に固定しないで、中学生でも良いと思うし、しっかりと体感させてあげたいです。

修正議案提出

発議第2号

令和5年度一般会計予算に計上された定住自立圏推進事業 運行業務委託料 266万8千円及び関係する予算を削除とする修正議案が提出されました。

(主な提案理由)

第一に、予算規模に対して体験できる子どもの数が少なすぎることから、お互いに行き来する機会を作り、一緒に勉強やスポーツ、文化活動、野外活動などを通して交流するなど、もっと多数の子どもが参加できるより効果的なお金の使い方があるのではないかと考える。

第二に、事業としての位置付けが曖昧であることから、学校教育の一環として行うのであれば、学校カリキュラムへの位置付けや教育効果の最大化について教育委員会や学校現場と話し合うべきであり、一過性の体験イベントとして行うのであれば、単なる一過性の事業にとどめず、行政が行うのにふさわしいやり方をもっと具体化してからの提案とすべきと考えるため。

賛成少数で

否決



討論(本会議 3月24日)

反対 同和関連予算が、昨年度とほぼ変わっておらず、同和関連施策の見直しがない。会計年度任用職員のフルタイム勤務者の採用予定はなく、官製ワーキングプアを生み出している。18歳と22歳の市民の個人情報をも本人の同意なく、自衛隊に提供しているが、妥当ではない。情報提供を希望しない市民は除外できるようにすべきである。



伊賀市美術博物館建設準備委員会設置条例の制定

賛成多数で
可決

新美術博物館の建設に関し、専門的かつ広範な見地から検討するための委員会を設置します。

質疑（総務常任委員会 3月10日）

問 本条例では、新美術博物館は芭蕉翁記念館との複合施設と捉えられるが、芭蕉翁記念館事業計画では単独施設であった。計画は変更されたのか。

答 機能を1つの施設に集約するのか、それぞれ単独施設が良いのかも含め、委員会で検討いただくこととしており、現時点では決まっています。



討論（総務常任委員会 3月10日）

賛成 寄贈品の保管状態の改善と新美術博物館における既存作品の改修も含めて議論してもらうことと、基本構想についてパブリックコメントをとり、その都度議会へ報告いただくことを信じて、賛成。

賛成 新美術博物館の建設については、美術作品や重要資料の保管状況の改善及び専門の学芸員を採用し作品を判断してもらえる状況づくりが重要であり、今回の議案については、それらを検討する準備委員会をつくりゼロベースで検討することから、賛成。

反対 条例制定後の進め方が不透明であることや、新美術博物館における学芸員の不在等は大きな問題であり、そこを整理しないと構想も検討できない。また、行政による作品の収集については、基準をより明確にするべきで、これらの点が問題であると考え、反対。

反対 公共施設最適化計画の流れの中で、複合施設を新たに建設する構想が根底にあることが分かったこと。まちづくりの上での施設の位置づけなど、庁内での議論が不十分であること。寄贈・収集のあり方が不明確であること。以上の3点から、反対。

討論（本会議 3月24日）

賛成 美術作品や重要資料の保管状況の改善と、それらを専門の学芸員により調査・研究・活用してもらい、今後の伊賀市政に反映していくことは早急な課題である。これらの課題を踏まえ、総合的に機能や規模、設置場所等について、市民を交えて検討していくことは現実的な選択肢であり、今後の伊賀市にとって有効であると考え、賛成。

賛成 市民とともにつくる美術博物館ということで、市の構想を明確にし、ターゲットへの訴求方法や展開手法を練る中で、全ての人を楽しめるようなものが建設されることを期待して、賛成。

反対 まずは、行政として寄贈作品の調査・研究等を行ったうえで、建設の是非も含め、文化振興に携わる人々が議論を行ったり専門家が意見を述べられるような素地を作ることが必要と考え、反対。

反対 美術博物館設置によって街の魅力をどのように高めたいか、どのように市民の暮らしを豊かにしていきたいかのビジョンや、施設規模の素案や将来にわたるコストの見通しについて示すなど、現段階で市として基本的な構想を示すべきだと考えるため。

伊賀市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

全員賛成で
可決

第3次伊賀市消防団活性化計画に基づき、消防団員の定数を削減するとともに、消防団員の処遇改善を図るため、年額報酬を消防庁から示された基準に引き上げます。

質疑（産業建設常任委員会 3月9日）

問 第2次消防団活性化計画の評価が今回の改正に繋がっているのか。

答 団員定数を減員し、女性分団を発足させており、活性化計画は概ね達成できたと考えています。今後、学校教育現場への消防団員の関わり、常備消防との技術的連携の推進、ドローンパイロットの育成など、新しい消防団のあり方を検討していきます。

問 消防団員数の定数削減と防災力は二律背反するのではないかと。

答 消防団員のなり手がいないなかで、実情に応じて定数を見直しています。また、基本団員と支援団員のバランスを考えながら検討しています。



伊賀市スポーツ推進審議会に関する条例の一部改正

賛成少数で
否 決

アーバンスポーツ施設の整備に向けて、基本コンセプトや規模、整備手法などを検討するため、審議会に専門部会を設置します。

質 疑（総務常任委員会 3月10日）

問 建設を前提とした検討か。

答 そのとおりです。スポーツ推進計画にアーバンスポーツ等に対応した施設の整備に取り組む旨の記載があり、それを根拠に建設を検討していきます。

問 市民や当事者の声を聴いているのか。

答 パブリックコメントをとったり、競技者に話を聴いています。



討 論（総務常任委員会 3月10日）

反 対 建設を前提に進んでいるこれまでの経緯に疑問がある。また、投資への不安が強い中で、建設を前提とする委員会を審議会の条例に加えることに不安を感じる。さらに、その資金があるのなら、より幅広い住民がアクセスできるものを充実させるべきであり、優先順位がおかしいとも感じることから、反対。

反 対 どのような場所・規模を想定しているのか分からないし、他のスポーツ施設の整備や、議会で採択されたサッカー場の整備について検討する請願が協議されていない状況の中では優先順位がおかしい。アーバンスポーツ施設の整備ありきでの条例の一部改正であり、説明に納得できないため、反対。

反 対 審議会にかけるための調査・検討がしっかりされてないこと。また、施設の建設に当たっては、請願として採択されたもの等がある中で優先順位が違うのではないかという疑問が残るため、反対。

討 論（本会議 3月24日）

賛 成 伊賀市のスポーツ環境において、新しいスポーツに関する審議会をつくることは、若者たちの声を行政が聴いている証であり、伊賀市のスポーツの発展にもつながると考えるため、賛成。

反 対 様々な疑問や問題点があるにも関わらず、アーバン施設の建設を前提とした専門部会を設置することには賛成できない。

反 対 ニーズ調査及び市場調査を行い、伊賀市にアーバンスポーツ施設を整備することが長期的に見てプラスになることを確認してから、改めて整備について検討するのが順序ではないか。

反 対 伊賀市スポーツ振興計画の中のアンケートにおいては、「公共スポーツ施設の充実」が40.1%、「子どもの外あそびの推進」が32.4%、「子どもたちの体力作り」が20.8%、「アーバンスポーツの振興（BMX・スケボー等）」が14.1%という状況であり、最優先にすべきことを考えてほしいため、反対。

伊賀市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正

全員賛成で
可 決

医療費の窓口負担が無料（県内）となる対象を中学生まで拡充し、受給資格認定にかかる所得制限が撤廃されます。

質 疑（教育民生常任委員会 3月9日）

問 受給資格を受けるためには、申請が必要と思われるが、どのように周知するのか。また、対象者にも別途周知するのか。

答 広報など市の媒体を利用し周知します。また、学校にも周知のチラシを配布していく予定です。対象者についても、把握しているので、別途通知を行う予定です。

問 申請の期限等はあるのか。

答 開始時期が令和5年9月であるため、それまでに申請をしてもらい、受給資格証の発行を行っていきたくので、8月初旬には申請を終えて頂きたいと考えています。



令和4年度一般会計補正予算（第11号）

9,455万3千円の減

全員賛成で

可決

決算見込みによる補正を中心に、国の令和4年度第2次補正予算で措置された事業に必要な経費などを補正。

【国の補正予算措置に伴う主なもの】

- 伊賀鉄道活性化促進事業
交通系ＩＣカード対応設備工事委託料 2億307万1千円
- 伊賀鉄道維持管理経費
鉄道施設・車両設備修繕工事及び更新工事委託料 1億873万3千円
- 新型コロナウイルス対策事業
小学校、中学校の消耗品費、備品購入費など 3,060万円

【決算見込みに伴う主なもの】

- 新型コロナウイルス対策事業
価格高騰緊急支援給付金 △ 5,909万6千円
- 商工振興経費（キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金） △ 9,359万円

質疑（予算常任委員会 3月13日）

問 価格高騰緊急支援給付金が減額されているが、その実績は。また、減額された給付金は返納するのか。

答 支給対象の9,041件の内では、申請があったのが8,593件でした。さらに、家計急変等の申請による決定件数が167件で合計8,760件でした。また、当給付金は国の補助であるため、返納することになります。

問 キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金が減額されているが、その執行率は。また、動向調査の結果は。

答 ポイント付与分について、1億8千万ポイントを予定していましたが、結果は約半分のポイント付与となりました。また、アンケート調査を集計中ですが、手数料の発生等のマイナスイメージを払拭できず、キャッシュレス決済の理解不足の解消が進んでいない状況です。

討論（予算常任委員会 3月13日）

賛成 新型コロナウイルス感染症対策に伴う事業費の相当な額が減額になっている。当初の計画及び実績（減額理由）を一覧表で示してもらうことを要望する。

令和5年度一般会計補正予算（第1号）

5億1,704万3千円の増

全員賛成で

可決

マイナポイント申請期限等の延長（令和5年5月末）、新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種の継続実施、ＬＰガス料金の負担軽減対策に伴う経費を追加。

【主なもの】

- 商工振興経費
ＬＰガス料金負担軽減支援事業補助金 6,440万円

4月臨時会

4月17日
補正予算など4件の議案を審議

令和5年度一般会計補正予算（第2号）

7,865万円の増

全員賛成で

可決

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、児童一人あたり一律5万円の特別給付金を支給することにより、その生活支援を行う経費を追加。

- 子育て世帯生活支援特別給付金事業 7,865万円

審議した議案と各議員の賛否

3月定例会

○：賛成 ×：反対 ―：近森議員は議長のため採決に入っていません。

件名		賛成：反対	議決結果	北山太加規	釜井敏行	西條工リ子	西田方計	濱瀬達雄	増田雄	森中秀哲	川上善幸	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久実	田中寛	上田宗久	近森正利	中谷一彦	百上真奈	中岡久徳
市長 提出議案	令和5年度伊賀市一般会計予算	18：3	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―	○	×	○
	伊賀市個人情報保護に関する法律施行条例の制定	19：2	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	×	○
	伊賀市美術博物館建設準備委員会設置条例の制定	15：6	可決	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	―	○	×	○
	伊賀市情報公開条例の一部改正	19：2	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	×	○
	伊賀市スポーツ推進審議会に関する条例の一部改正	10：11	否決	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	―	×	×	×
	島ヶ原ふれあいの里の設置及び管理に関する条例の廃止	17：4	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―	○	×	○
	伊賀市温泉活用施設の設置及び管理に関する条例の廃止	16：5	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―	○	×	×
	訴えの提起	18：3	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	×	×
	財産の減額譲渡（島ヶ原ふれあいの里）	17：4	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―	○	×	○
	財産の減額譲渡（伊賀の国大山田温泉）	16：5	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―	○	×	×
議員 提出議案	議案第1号 令和5年度伊賀市一般会計予算に対する修正	5：16	否決	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	―	×	○	×

全員賛成で可決（同意を含む）した議案

市長 提出議案	- 令和5年度伊賀市国民健康保険事業特別会計予算 - 令和5年度伊賀市駐車場事業特別会計予算 - 令和5年度伊賀市介護保険事業特別会計予算 - 令和5年度伊賀市サービスエリア特別会計予算 - 令和5年度伊賀市後期高齢者医療特別会計予算 - 令和5年度伊賀市病院事業会計予算 - 令和5年度伊賀市水道事業会計予算 - 令和5年度伊賀市下水道事業会計予算 - 令和5年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計予算 - 令和5年度伊賀市大山田財産区特別会計予算 - 令和4年度伊賀市一般会計補正予算（第11号） - 令和4年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） - 令和4年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第2号） - 令和4年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算（第2号） - 令和4年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算（第2号） - 令和4年度伊賀市サービスエリア特別会計補正予算（第1号） - 令和4年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） - 令和4年度伊賀市病院事業会計補正予算（第4号） - 令和4年度伊賀市水道事業会計補正予算（第4号） - 令和4年度伊賀市下水道事業会計補正予算（第3号） - 令和4年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計補正予算（第1号） - 令和4年度伊賀市大山田財産区特別会計補正予算（第1号） - 岸宏子記念伊賀文学館の設置及び管理に関する条例の制定 - 伊賀市情報公開・個人情報保護審査会設置条例の一部改正 - 伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正 - 伊賀市特別会計条例の一部改正 - 伊賀市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	- 伊賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 - 伊賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 - 伊賀市国民健康保険条例の一部改正 - 伊賀市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正 - 伊賀市の適正な土地利用に関する条例の一部改正 - 伊賀市建築基準法等関係手数料条例の一部改正 - 伊賀市消防委員会条例の一部改正 - 伊賀市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 - 伊賀市給食センター設置条例の一部改正 - 伊賀市行政情報番組検討委員会条例の廃止 - 固定資産税の納期の特例に関する条例等の廃止 - 上野市住宅新築資金等貸付条例等の廃止 - 伊賀市住宅新築資金等貸付事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止 - 伊賀市福祉資金貸付事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止 - 工事請負契約の締結 - 事業契約の変更 - 伊賀市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定 - 市道路線の認定 - 辺地に係る総合整備計画の策定 - 伊賀市環境基本計画の策定 - 工事請負契約の締結 - 令和5年度伊賀市一般会計補正予算（第1号） - 人権擁護委員候補者の推薦（福山康宣氏、中森宜光氏、中井洸一氏）
議員 提出議案	伊賀市議会の個人情報の保護に関する条例の制定	

4月臨時会（4/17）

○：賛成 除：除斥 ―：近森議員は議長のため採決に入っていません。

件名		賛成：反対	議決結果	北山太加規	釜井敏行	西條工リ子	西田方計	濱瀬達雄	増田雄	森中秀哲	川上善幸	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久実	田中寛	上田宗久	近森正利	中谷一彦	百上真奈	中岡久徳
市長 提出議案	令和5年度伊賀市一般会計補正予算（第2号）	21：0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○
	専決処分の承認（市税条例の一部を改正する条例）	21：0	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○
	専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	21：0	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○
	監査委員の選任	20：0	同意	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○

市政を問う

一般質問

一般質問は、3月3日、6日、7日の3日間で、18人の議員が市政に対して質問をしました。その主なものを掲載しています。
QRコードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧ください。本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

ますだ たけし
増田 雄 議員

質問項目

- 歴史文化を活かしたまちづくり（その4）



問 市が保管する貴重資料（古文書）の一元管理を

答 新たな施設を検討するなかで、あわせて検討します

古文書の他、埋蔵文化財もあり、すべて一元管理することは困難ですが、新たな施設を検討するにあたり、あわせて検討します。

問 約70年前に計画された都市計画道路の見直しを

答 早急に方向性をまとめ、業務が停滞しないよう進めます

必要性の検証と20世紀遺産のまちづくりの観点から、早急に計画の廃止を含めた

方向性をまとめ、業務が停滞しないよう進めます。

問 美術博物館は、旧桃青中学校跡地への設置を

答 選択肢の有力な一つです

建設準備委員会で設置場所もゼロベースで検討し、市民が市民のために作る施設にしたいと思っています。

問 美術博物館を含む市街地の回遊に、電動キックボードの利活用を

答 ぜひ活用していければと思います

試乗を実施したところです。今後、伊賀上野DMOとともに検討を進め、ぜひ活用していければと思います。

問 新丸之内ルネサンス・親水環境整備は

お城の外堀を丸之内に復元することで、親水環境整備や防災力の向上、市民、観光客、関係人口が文化的景観を感じ、町歩きを楽しめるように商業施設のある親水広場や、夏場なら子どものたわむれる水辺を作れますか。

答 進めていきたいです

外堀は親水機能を持つなど、藤堂の都市計画の防災面でも良くできていました。提案のように、日本の20世紀遺産20選に選ばれた市街地の忍者回廊事業と絡め親水や景観面で復元し、市民、観光客が楽しめる

場所にしていきたいが、費用のかかることなので、様々なメニューを探りたいです。

問 三方よしの中間管理住宅制度は

人口減少対策として、行政が国補助金等を活用して住民所有の空き家を借り上げたうえりフォームし、移住者等に貸し出す、中間管理住宅制度を、取り入れては。

答 提案いただいたような空き家活用や移住促進に関する事業の必要性は高く、企画振興部と連携して、研究していきます

はませ たつお
濱瀬 達雄 議員

質問項目

- 城下町伊賀上野、親水環境にぎわいづくり
- 「三方よし」の中間住宅管理制度
- サスティナビリティなゴミ問題



あかほり くみ
赤堀 久実 議員

質問項目

- 低出生体重児
- 紙おむつの回収
- 生理の貧困



問 保育園で使用済み紙おむつを処分するお考えは

全国の自治体調査で約4割の公立保育施設で使用済みおむつを処分されていることが明らかになりました。ちなみに伊賀市では保護者が持ち帰っています。この調査の結果、厚労省より「使用済みおむつの持ち帰りがなくなることは、保護者にとっては大きな負担軽減になるとともに、保育士や保育教諭にとっても使用済みおむつを子どもごとに振り分ける業務負担がなくなる」とのことで、地方自治体に対して、保育所等において使用済みおむつを処分することを推奨する旨が通達されました。市としても保育園で処分すべきではないですか。

答 実施にむけて準備をしていきます

処分するまでの期間の保管方法や、場所の確保等の課題はありますが、保護者や保育士にとって負担軽減に繋がることから、実施に向けて国の補助金を活用し、必要な準備を行って参ります。



☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

一般質問

かわかみ よしひで
川上 善幸 議員

質問項目

- 介護保険制度の課題と未来
- 持続可能な地域農業



問 訪問型サービスB・Dの実施を

地域が自主的に行う助け合いの互助活動は自治の存続に繋がる期待の活動です。名張市の様に介護予防・日常生活支援総合事業として位置づけ補助する時が来たと思いますが可能ですか。

答 次期第9期介護保険事業計画へ位置づけます

地域住民主体で実情に応じて多様なサービスが提供できることは望ましいと考えます。地域ニーズを把握した上で次期計画に位置づけます。

問 農地中間管理機構関連農地整備事業で地域農業支援と獣害防止柵の更新を

農地整備事業は地元負担が0円で上限額の設定がない事業です。新規立ち上げ地域には親切で丁寧な支援と獣害防止柵の更新は。

答 地域計画を策定します

農地中間管理機構関連農地整備事業や獣害防止柵の更新等の地域支援があります。農業経営基盤強化促進法の改正に伴い人・農地プランから地域計画に変更され、市が地域計画を策定しますが、集落で協議の場を設けて地域の合意は必要不可欠です。

問 駅舎の利活用を図るべきでは

四十九駅のように、魅力ある施設があれば、地域内外の利用者が増えます。鳥取県の若桜駅には、駅舎を利活用し民間の方がカフェをオープンしています。持続可能な観光地づくりと地域活性化を目指すため、若桜駅のように、伊賀上野から伊賀神戸の間、駅舎が残存する駅を中心に、飲食店や土産屋等、駅舎の利活用を図るべきでは。

答 仕組みづくりを構築し、企業や沿線地域に対し、駅舎活用のPRを積極的に行います

駅や駅前に、魅力ある施設があることは、乗降者数の増加に繋がるほか、駅周辺の地域の活性化にも寄与します。民間企業との協同による駅舎の利活用が進むことは、伊賀鉄道の活性化に繋がる有効な取り組みであると考えます。駅舎の利活用を検討していただけるよう、まずは仕組みづくりを構築し、企業や沿線地域に対し、駅舎活用のPRを積極的に行っていきます。

ももい ひろこ
桃井 弘子 議員

質問項目

- 伊賀地域の医療体制（その3）
- 伊賀鉄道の活性化



なかたに かずひこ
中谷 一彦 議員

質問項目

- 新たな奨学金等返還支援金制度
- 移住支援金の増額
- 伊賀市のデジタルデバйд対策
- 学校における発達障がい児童への支援



問 市外若者の市内流入やUターンを促進するため奨学金返還支援金制度について説明を

対象者は5年以上伊賀市で定住する意思があり、日本学生支援機構の奨学金等を返還する方で、令和5年4月以降、新たに伊賀市内又は定住自立圏域内の企業等へ就職する35歳未満の人です

返還支援額は当該返還額の2分の1で年間20万円を限度とし、60か月分まで支給します。他の支援制度との併用は可能ですが、他制度と合わせた奨学金返還額の4分の3を超えない範囲で支給します。募集は20人で、予算は400万円、財源は経費の

2分の1が特別交付税で措置されます。企業の奨学金代理返還の取り組みとも合わせてできることを紹介していきます。

問 スマートフォン等に不慣れな方で、不当に料金を請求されたり、消費者トラブルに巻き込まれた時の相談窓口は

消費生活相談専用ダイヤルは、0595-22-9626です

一般質問

もりなか ひであき
森中 秀哲 議員

質問項目

- 災害時「個別避難計画」の早期作成を
- 新図書館で問われる伊賀市の「姿勢」



問 要介護者や障がい者の命を災害から守る「個別避難計画」。早急に作成を

自力避難が難しい方の災害時「個別避難計画」作成は、市の法的な努力義務です。洪水ハザード内に住む人など危険性の高い対象者からでも、早急に作成してください。

答 防災・福祉部局で連携して進めます

先進市町の調査を始めました。防災・福祉部局で連携し、伊賀市に合った方法で作成を進めます。

問 新図書館、宿泊施設同居に不安の声。「新図書館計画」を守って整備できますか

同一階に宿泊室と公立図書館が混在する配置に、性犯罪など防犯上の不安の声が市民から市に届いています。児童コーナーほぼ半減など、公表された配置図は、市議会の事業契約可決の基準となった「新図書館基本計画」を満たしていない点が複数あります。無理があるなら計画の再検討も必要では。

答 ^{きゅう}「杞憂」です

ホテルですから、誰彼かまわず泊まる場所ではありません。公表された図は、最終版ではありません。

問 人権の取り組み状況は

答 3年間で37件の差別事象を把握し対処

コロナ禍の令和2年度7件、令和3年度17件、令和4年度現在13件の差別事象を把握しています。特徴的な対処として、不適切な動画共有サイトの削除要請などに努めました。

県条例「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」への連携は今後協議となりますが、相談者に寄り添う対応を行います。

問 人権への取り組み姿勢は

答 三重県人権大学講座を修了した市職員は158名、5年後は「人権啓発地区別懇談会」の再開を働きかけます

三重県人権大学講座で人権を学ぶため率先して本年度も2名職員を派遣、延べ158名が受講を修了、内86名の職員が現在も在職中で、職場研修の講師やファシリテーターに起用するなど、活動の場の拡大に取り組めます。

また、引続きオンライン形式による講演会を継続すると共に住民相互の意見交換を再開していただけるよう働きかけます。

きたやま たかし
北山 太加視 議員

質問項目

- 人権の取り組み
- 丸之内横断地下道の壁面活用



かまい としゆき
釜井 敏行 議員

質問項目

- 人権・同和教育
- 市営住宅の家賃滞納の対応



問 「木学だより」の内容に問題はないか

「木学だより」には、旧同和地区名や、実名などの個人情報に掲載されていますが、問題だと認識されていますか。

答 内容には問題ありませんが、個人情報の掲載には配慮します

「木学だより」は、関係の児童の学習や保護者啓発のための限られた中での発行です。地区名は住みよい町づくりを進める施設がある地域として伝えており、旧同和地区名は伝えていません。今後は、発行元を明記し、外部に流出する可能性があるため個人情報の掲載には十分配慮をします。

問 希望のもてる人権教育に改善を

差別が根強くあるということだけでなく、市民の人権意識の前向きな変化も伝えることが大切ではありませんか。

答 子ども達の人権意識は高まっています

子ども達の差別発言が大きく減少し、学校でのコロナ差別は報告されていません。家庭や地域との連携で、子ども達の人権意識が育ってきています。今後も人権教育をしっかりと進めます。

一般質問

たなか さとる
田中 覚 議員

質問項目

- 当面の政治課題



問 LGBT法案を見据えて

国では理解を増進し差別を許さないと法律を作ろうとしています。パートナーシップ宣言をいち早く施行した本市の取り組みは。

答 人は一人では生きていけません

国の動向を注視しながら、条例制定の必要性について研究を進めます。

問 いじめ問題の解決

文科省からの通知は、警察と連携し、いじめを無くすとなっています。

答 各学校に連絡しました

警察に速やかに相談通報し、徹底して連携します。

問 中学校の制服

出生数が減り、国民負担率が高い今、中学生の制服を無償貸与すべきです。財源は、今期議員定数を2名減らしています。

答 無償貸与は考えていません

問 共創の基準

有償、無償譲渡、無償貸与、PFIをはじめ市財産の有効利活用を推進していますが、その基準が条例上曖昧です。相手側のコンプライアンスも含めて、見直しが必要です。

答 現行制度を見直します

適切な対応や透明性公平性を担保するため、一定の基準を作る必要があります。

問 上下水道事業管理者は不当労働行為をしたのか

管理者は、上下水道部の労働組合役員選出にあたり、自らの意に沿わない組合役員を変えるために、自らの意に沿う組合員が役員になるよう働きかけたと聞きます。これが事実だとすると、労働組合法第7条で禁止する不当労働行為の中の支配介入行為にあたります。管理者はこの極めて悪質な行為をしましたか。

答 していません

問 地域拠点づくりに取り組む人材の確保・育成を

伊賀市都市マスタープランでは、旧町村の支所周辺エリアを日常生活の中心とする地域拠点と位置付けています。そこでは、起業支援中間組織を立ち上げ、地域の資源を活かし、課題解決や新たな価値の創造を進めることとしています。起業支援中間組織の人材をどのように確保・育成していきますか。

答 体制づくりを進めます

様々な媒体を通じて情報発信して人材を確保・育成し、2030年にはまちづくりの中心となって活動してもらえるよう取り組んでいきます。

みやざき えい き
宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 旧町村地域の魅力を高めるまちづくりを
- 上下水道部の労働法令違反と管理者の責任
- 子どもたちのマスク着用の今後



ふくおか せいこう
福岡 正康 議員

質問項目

- 川上ダム運用開始に伴う発現効果
- 伊賀市生活排水処理
- 大山田地区にある集客施設（ホール）等



問 川上ダムの完成に伴い、治水・利水の効果及びこれからの対策を教えてください

答 治水・利水で次の効果が期待できます

平成29年の台風21号時点で川上ダムが完成していれば、比土水位観測場地点での最高水位を1.7m低減できたと推測できます。木津川の毎年の河川改修計画なり、治水ハザードマップの地域説明会を、期成同盟会等地域の人々に早期に実施します。災害復旧事業により遊水地内水田に溜まった流木等の排除をするとともに、遊水堤背後に流木等流れ込まないような施設設置工事を行っています。

ダム完成に伴い水道用水会計からの償還額が増えますが、水道料金を上げることなく水道用水の安定供給に努めます。

問 大山田地域にある集客施設の改修計画を教えてください

答 公共施設最適化計画を踏まえ検討していきます

一般質問

にしだ みちかず
西田 方計 議員

質問項目

- 部落差別撤廃をめざす伊賀市づくり
- コロナ後の学校教育文化の再構築
- 周辺農山村地域における住民自治の体質強化支援



問 部落差別の解消に向けた市長の考えは

答 自分事として、あらゆる差別に対し水平社宣言を援用し取り組みたい

ネット上でのアウティングなど陰湿な部落差別などに対する法整備が必要です。100年前、伊賀でも水平社が結成されています。水平社宣言はあらゆる差別解消に向けた取り組みに援用されるものと捉えています。

問 実態把握を重視した学校教育文化の再生と特別支援教育の充実を

答 家庭訪問などを通じ子どもの背景や保護者の思いをつかむとともに、

保護者同士のつながりづくりを重視して取り組みます

問 周辺地域の振興のありかたは

答 「過疎地域持続的発展計画」などの評価・報告をはじめ、地域連携部(各支所)が中心となり、顔と顔の見える関係で地域とつながりながら進めていきます

問 農村RMO(農村型地域運営組織)や集落支援員制度の活用を

答 住民自治協議会に対し、国の制度等をどう活かすか検討していきます

問 支所の機能複合化を進めていきますか

青山複合施設アオーネは、支所、図書室、地域包括支援センター、地区市民センターが入所し、行政と住民が協力して地域づくりを進めていく拠点となっています。

他地域でも複合化により地域拠点の充実と財政負担の軽減を図っていくべきではないですか。

答 公共施設最適化方針に沿って進めます

公共施設最適化計画では、各支所及び周辺施設の機能統合又は機能移転について具体例を示しており、既存施設の複合化

により維持管理費等の財政負担を軽減することができます。仮に新たな複合施設を新築しても、コンパクトで機能的なものであれば、維持管理費などのランニングコストを考えると、財政的には現計画と同様もしくはそれ以上の費用縮減効果を期待できます。

ただし、複合施設の新築については、今後10年20年先の地域の未来の姿を予測し、必要な機能や大きさ、設置場所について地域等で十分議論していただきたいと思います。

いちかわ がくと
市川 岳人 議員

質問項目

- 岡本市政 10 年間
- 令和 5 年度当初予算案編成



さいじょう えりこ
西條 エリ子 議員

質問項目

- 消防行政における防火・防災対策
- 空き家対策の推進



問 学校と消防団の連携で防災教育の充実を

自らの安全を守る能力を幼いころから継続して防災教育に取り組むことが重要であり、地域防災力を担う消防団員が積極的に携わっていくことは消防団活動に対する理解、ひいては将来の地域防災力の担い手育成につながります。今後、防災教育の充実に向けた学校と消防団の連携の進め方を伺います。

答 国が推進する「消防団の力向上モデル事業」として支援が受けられるよう、教育委員会とその仕組みづくりに取り組みます

問 地域と連携した空き家対策の取り組みを

答 空き家対策室では「空き家バンク事業」「適正管理指導」「古民家等再生活用事業」の三つの柱を掲げて取り組んでいます

地域との連携では今年度は猪田地区住民自治協議会と連携して、空き家の発生予防の勉強会や空き家実態調査を実施しました。来年度は他の地域にも展開しながら、空き家問題に対する意識の醸成を進めていきます。

一般質問

ももがみ まな 議員
百上 真奈

質問項目

- 学校図書館の充実
- 地域を元気にするコミュニティナースの導入



問 小中学校の学校司書は何人ですか

学校の先生ではなく事務職員として採用され、学校図書館に勤務している学校司書の配置状況は。

答 0人です

問 学校図書館に学校司書の配置を

平成26年6月の学校図書館法改正により、学校図書館には学校司書を置くよう努めるものとされました。配置のある学校は、全国では、令和2年度で小学校69.1%、中学校65.9%です。国はさらなる拡充のため小中学校の概ね1.3校に1名配置できる財政措置を図っています。終日、図書館が開けられ、子どもの気持ちに

合う本を探してくれたり、授業に活かせる本を紹介してくれる司書がいるだけで、図書館は大きく変わります。学校図書館と新図書館との連携を図るためにも、学校司書を配置してください。

答 考えていく必要があると考えています

現在は、ボランティアや司書教諭、上野図書館と連携して取り組んでいますが、今後は、司書の配置を考えていく必要があると考えています。

問 まちなかの狭い道路での消火活動が懸念されますが、火災が発生した場合の対応は

答 国が実施する調査結果から市街地の消防水利の充足率は、79.4%で全国平均の78.7%を上回っており、消火栓の配管が網の目の様に張っており、現状では消火に対する供給率は高いです

市内全域の狭い道路調査を行い、緊急車両が進入出来ない道路を把握して進入出来る所まで進入して、消防水利の近くに消防車を停めてホースを伸ばし迅速な消火をし、救急車であれば方向転換のできる所

まで行き、困難が予測される場合消防隊員が協力しあって迅速に担架を搬送しています。

問 企業との防災協定は

答 火災の際に公設の水利以外で、企業所有の消防水利は消防法で緊急的に消火活動に使用することが認められています

企業に対する消防力を上げる取り組みで、地域貢献の証として消防団活動に対し協力事業所表示制度や、ドクターヘリの着陸地点の協力、AEDの設置場所も公表して頂いています。

きたもり とおる 議員
北森 徹

質問項目

- 中心市街地の防災に対する行政の現状把握



うえだ のりひさ 議員
上田 宗久

質問項目

- 伊賀市の近未来への課題
- 伊賀市のDXへの挑戦



問 雨漏りや水漏れ対策はどうしますか

「宿泊施設を備えた新図書館」に改修予定の旧上野市庁舎については、過去に発生したゲリラ豪雨の際に浸水被害が発生しました。PFI事業者、その要因や対策を伝えてありますか。

答 排水機能を根本的に見直し、万全の対策を伝えています

局地的な大量の雨を処理がしきれなかった事が主な要因と考えています。事業者、排水機能を根本的に見直す必要がある事や老朽化した配管のやり替えなど、雨水対策に万全を講ずるよう伝えてあります。

問 DXの教育現場で学ぶ生徒の学習意欲の変化は

成和西小学校でDX公開研究授業を参観しました。服部半蔵が繋げる「伊賀と東京の関係」についてデジタルアーカイブを通して学んだ児童の学習意欲にどんな変化が出ていますか。

答 効果的な学びの意欲が進みます

自ら考える個別の学びと、共に考える協働的な学びで、対話を通じて深く学ぶ意欲が増進したことです。

活動報告

所管事務調査

提言書を提出

■総務常任委員会■

地域意見交換会のテーマで多かった公共交通のあり方について、令和4年6月20日、9月21日、12月15日、令和5年2月21日、所管事務調査を行い、4月3日に市長に「伊賀市における目指すべき公共交通のあり方と移動の確保について」提言書を提出しました。

【提言内容】

- (1) 公共交通が担う範囲、ボランティア輸送が担う範囲及び地域送迎の役割などを整理して各種交通が担う役割を明確にすること。
- (2) 伊賀鉄道伊賀線においては、財務状況を分析し、人件費の抑制をはじめあらゆる経費の削減を図ること。さらに、近い将来を見据えて、BRT（バス高速輸送システム）の導入など、経営のあり方を含めた様々な検討を行うこと。また、近鉄大阪線をはじめJR関西本線、JR草津線においては利用しやすく、乗りたくなるような仕掛けを更に検討すること。
- (3) 廃止代替バスにおいては、現在、島ヶ原で進めようとしている新たな交通デマンド等の試験運行を早急に実施し、データの検証を行うと共に伊賀市内全域への効果的な普及・改善を行うこと。
- (4) 行政バスにおいては、身近な行政バスであるからこそ移動の「質と量」を見極め、各地域の実情に応じた交通システムの検証を早急に行うこと。
- (5) 地域運行バスにおいては、抜本的な制度の見直しを行い柔軟で地域の活力が引き出せるような地域運行バスとなるよう改善すること。
- (6) 伊賀市は互助活動による送迎に対して、法的なアドバイスや先進事例の紹介、更に補助や助成金の支援を行うこと。

提言書は、市議会ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。



▲伊賀市議会
ホームページ
QRコード



【議長から市長に提言書を提出しました】

地域意見交換会を開催

「地域意見交換会」を開催しました。各地区において、下記テーマのほかに市長及び市議会議員の同時選挙を議会からのテーマとして、ご意見をいただきました。

各地区で開催した「地域意見交換会」の報告書は、市議会ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。



1月14日 丸柱地区市民センター

1月14日 丸柱

- ・生活道路（通学路を含む）の安全対策について
- ・消防団の活動について

1月19日 西柘植

- ・にぎわい忍者回廊PFI事業について
- ・下水道使用料改定について

2月6日 比自岐

- ・空き家対策について
- ・地域コミュニティバスについて
- ・比自岐小学校の今後の活用について

2月9日 上野西部

- ・中心市街地における各種プロジェクトの推進状況について
- ・地域づくりにおける担い手の育成について



▲伊賀市議会
ホームページ
QRコード

会派の構成に一部変更がありました

政策を中心とした同一理念を共有する2人以上の議員で構成し活動するグループとして会派が存在します。すべての議員が会派に属しているわけではありません。

(令和5年4月17日現在)

会派名 (50音順)	結成の目的	所属議員 ◎は代表者
草の根・無所属フォーラム	多様性、持続可能性、平和を大切にするまちづくりを目指す	◎宮崎栄樹 西田方計 森中秀哲
公明党	結党以来のスローガン「大衆とともに」をモットーに、政治を庶民の手に取り戻し、庶民を守り、庶民の声に寄り添い市政に届ける	◎赤堀久実 (近森正利) 中谷一彦
自民絆	未来に対する責任ある政策提言を行い、安心・安全・持続可能な伊賀市を目指す	◎市川岳人 西條エリ子
市民の風 いがラボ	市民目線で政策提言するとともに議会改革を推進する	◎山下典子 北山太加視
新政会	コロナ後を見据えた伊賀市の創生	◎北森 徹 川上善幸 西口和成
日本共産党伊賀市議団	市民のいのちと暮らしを守る防波堤としての役割を果たし、よりよい伊賀市政実現のため、積極的に提案をおこなう	◎百上真奈 釜井敏行
街づくり研究会	民生、衛生、商工、農林水産、建設、教育等、すべての政策の横串である街づくりを様々な観点から追及する	◎田中 覚 濱瀬達雄 増田 雄 桃井弘子
会派に所属していない議員		福岡正康 上田宗久 中岡久徳

※議長は会派に属さないことになっているため、() で表示しています。

議会図書室で「政務活動費収支報告書」を公開します

各議員より提出された令和4年度の収支報告書等の写しが閲覧できます。

公開の目的	政務活動費の使途の透明性を確保するとともに、広く市民の皆さんに議員の調査研究活動等を知っていただくため。
閲覧の方法	場所：議会図書室（市役所本庁舎5階） 時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）
閲覧の対象となる文書	①収支報告書 ②行政視察報告書 ③研究研修報告書 ④政務活動費明細書 ⑤領収書又はこれに準ずる書類 ⑥その他添付書類
閲覧の開始時期	令和4年度分は 5月25日（木）から閲覧可能。
閲覧の注意事項等	1. 閲覧書類を閲覧場所の外へ持ち出すことはできません。 2. 閲覧は無料ですが、コピーを希望される場合は、A3以下（白黒）一面につき10円が必要となります。 3. 文書の記載内容に伊賀市情報公開条例に規定する非公開情報が含まれている場合は、その箇所のみマスキング（墨塗り）をしています。
その他	市議会ホームページでは、6月中旬の公開を予定しています。

広報広聴委員の紹介



中谷一彦 濱瀬達雄 北森 徹 森中秀哲
川上善幸 (委員長) 増田 雄 (副委員長) 西條エリ子

今年度の広報広聴委員です。これまで市民の皆様と議会をつなぐことを目標に委員会の活動を進めてきました。今年度は更に老若男女を問わず広く意見を聴取し、特にこれからの伊賀市を担う想像力あふれる若年層の意見も多く聴取できるように活動を進めます。身近で分かりやすい議会広報広聴活動としていきますので、市民の皆様のご意見をいただきながら、共に1年間よろしくお願いいたします。
(広報広聴委員長 川上)

令和5年6月定例会日程 (予定) 会期22日間

日	月	火	水	木	金	土
5/28	5/29	5/30	5/31	1	2	3
4	5	6	7	8	9 本会議 (開会)	10
11	12	13	14	15	16 本会議 (一般質問)	17
18	19 本会議 (一般質問)	20 本会議 (一般質問)	21 本会議 (一般質問)	22 各常任委員会 (予算・決算 を除く)	23 各常任委員会 (予算・決算 を除く)	24
25	26 予算常任 委員会	27	28	29	30 本会議 (閉会)	7/1

- ・本会議と予算常任委員会は、午前10時から始まります。その他の各常任委員会は、開会日に決定します。
- ・定例会の日程は、変更になる場合があります。

編集 後記

昨年度は地域意見交換会を27地域で実施いたしました。多くの市民のみなさまにご参加いただき感謝申し上げます。意見交換会の目的は、市民のみなさまとの意見交換や情報交換、市政への民意の反映、議会に対する理解を得ることなどです。各地域、年に1度だけの機会ではありましたが、議会としては成果があったように感じています。特に、意見交換会でお聞きした声を、一般質問や常任委員会などの議会活動に活かすことができましたと思います。新年度から広報広聴委員会の体制は変わりますが、引き続き議会活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。(前 広報小委員長 宮崎)

次号は8月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



伊賀市議会
ホームページ

伊賀市議会

検索